

読者からの便り 高校生の挨拶と三島巡り



郷ノ浦港発着所を出航したフェリーみしま

有頂天になってはしゃぐ喧騒の街をすり抜けて吉岐郷ノ浦へ渡り、三島巡りをしました。

でも朝、郷ノ浦の宿を出て三島行きの船着場へ急ぐ途中、向うから何やら低音の声を聞き、その時、元気のよい「オハヨーゴザイマースッ！」に驚きました。3、4人の高校生が揃って声をかけてくれたので、昨日の喧しい街とのあまりの落差に驚くと同時に、大島にあがって、吉岐水道を眺め乍ら道路端で食べたスケロク弁当と水筒のお茶がことさらにおいしく、うれしい一日になりました。

わかば俳句

《俳句》
まなうらに亡夫の笑顔や盆の月
子どもらとラジオ体操今朝の秋
葡萄盛る黒々重き里の粒
窓開けて深夜を虫と共に在り
口あけて蟬の行方を追う児かな
早朝に目覚め促す蟬時雨
種飛ばす癖は治らず西瓜食ぶ

大島美代子 柳澤 幸子
品川 京子 高田 英子
滝 きみ子 坂野 幸子
野田 隆也

《俳句》
やっぱり日本は大丈夫
だとうれしくなり三島巡り
も更に充実しました
大島にあがって、吉岐水道を眺め乍ら道路端で食べたスケロク弁当と水筒のお茶がことさらにおいしく、うれしい一日になりました。

《吉岐新報川柳》 吉岐川柳会

8月 兼題 「平和」

藤本健人 選

激論へまあまあまあと平和主義
銃を持ち平和になると信じてか
先人の努力の上にある平和
サイレンに平和を祈る首たれ
長崎は今日も平和の鐘鳴らす
原爆の語り若さ立ち上がる
合掌の閉じる眼にきのこ雲
平和とは草に埋もれた防空壕
世界中の平和を祈る青い空
津波消え平和な海でまた生きる
平和ってなんだ原発再稼働
幾万の犠牲の上にある平和
戦争経験者だけが識る平和
だんまりと平和宣言聴く爆息

仲幸 星舟 幸子 海秀 仲幸 網代 扶巳 ひろこ 華子 甫鈞 仲吾 春菜 仲吾 篤世



「スズキハワキ」
9月に入ると北東の風が
ふくようになり、私が住む
左京鼻の海には、頻りに
白波がたつようになりま
す。



スズキを
ターゲットに
ルアーを使い
サラシを狙う
今で言う「シー
バスフィッシ
ング」の伝統釣
法(ちようほ
う)版の釣り方
で、簡単に言
うと大きなテ
ンカラ釣り(毛
ばりを使った
延べ竿の深流
釣り)のような
もの。

スズキを
ターゲットに
ルアーを使い
サラシを狙う
今で言う「シー
バスフィッシ
ング」の伝統釣
法(ちようほ
う)版の釣り方
で、簡単に言
うと大きなテ
ンカラ釣り(毛
ばりを使った
延べ竿の深流
釣り)のような
もの。

兼題 「遅しい」

松永扶巳 選

遅しけれなれど願ひ孫を抱く
遅しい足投げ出して孫昼寝
遅しい腕で家族の糧そだて
力泳の選手の上腕魅せられる
遅しい父の戦死を聞く夏光

海秀 甫鈞 仲吾 春菜 網代

遅しけれなれど願ひ孫を抱く
遅しい足投げ出して孫昼寝
遅しい腕で家族の糧そだて
力泳の選手の上腕魅せられる
遅しい父の戦死を聞く夏光

遅しけれなれど願ひ孫を抱く
遅しい足投げ出して孫昼寝
遅しい腕で家族の糧そだて
力泳の選手の上腕魅せられる
遅しい父の戦死を聞く夏光

遅しけれなれど願ひ孫を抱く
遅しい足投げ出して孫昼寝
遅しい腕で家族の糧そだて
力泳の選手の上腕魅せられる
遅しい父の戦死を聞く夏光

《俳句》
まなうらに亡夫の笑顔や盆の月
子どもらとラジオ体操今朝の秋
葡萄盛る黒々重き里の粒
窓開けて深夜を虫と共に在り
口あけて蟬の行方を追う児かな
早朝に目覚め促す蟬時雨
種飛ばす癖は治らず西瓜食ぶ

《詩》 井手 美穂子
ジャノメギク
別名 サンビタリア
地面をはうようにひろがり
草丈二十センチ前後
花は直径二〜三センチ
ひまわりの
ミニチュアサイズのような
花形をしている
まるで自分の存在を
主張するかのよう
に咲いている



民家の垣根に咲くバラ

農作業中の事故に注意

【8月の火災】
▽発生1件▽累計18件▽林野火災1件
【8月の救急】
▽出動136件▽累計1043件▽急病84件▽一般負傷24件▽交通事故10件▽自損行為1件▽労働災害1件▽水難1件▽その他(転院等)15件
【火災・救急メモ】
① 危険物取扱者試験と準備講習会(6案内)について
1 平成24年度(第2回)危険物取扱者試験
▽試験日▽平成24年11月18日(日)
▽試験会場▽吉岐振興局
▽試験の種類▽甲種、乙種(第1類〜第6類)、丙種
▽願書受付期間▽書面申請 平成24年8月29日(水)〜9月21日(金)▽電子申請 平成24年8月26日午前9時〜平成24年9月18日午後5時▽願書は吉岐振興局及び吉岐消防署、郷ノ浦支署、勝本出張所に準備しています。

② 農作業中の事故防止について

9月に入り、トラクター、コンバイン等農業機械を利用することが多くなり、農作業中の事故には、トラクター転倒事故、コンバイン等に衣服を巻き込まれ骨折、手指を切断する等の事故があり、農業従事者の高齢化等も事故に影響していると思われ、農作業事故をなくす為、つまりを除去したり、点検や修理を行う際には必ずエンジン停止してから行い、高齢者の方は、御自身の身体能力に合わせた農作業を行いましう。又、作業に行くときは、どこでどんな作業をするかを家族に知らせることも大切です。